

ニューベクオ[®]を服用される患者さんにご家族へ

監修：群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 教授 鈴木 和浩 先生

去勢抵抗性前立腺がんとは

前立腺がんはホルモン依存性のがんであることから、体内の男性ホルモンを低下させ、去勢状態^{*}にすることにより、がんの縮小やPSAの低下が得られます。

しかし、治療を続けていくうちに、

去勢状態であるにもかかわらず、がん細胞が再度増殖(再燃)してしまうことがあります。

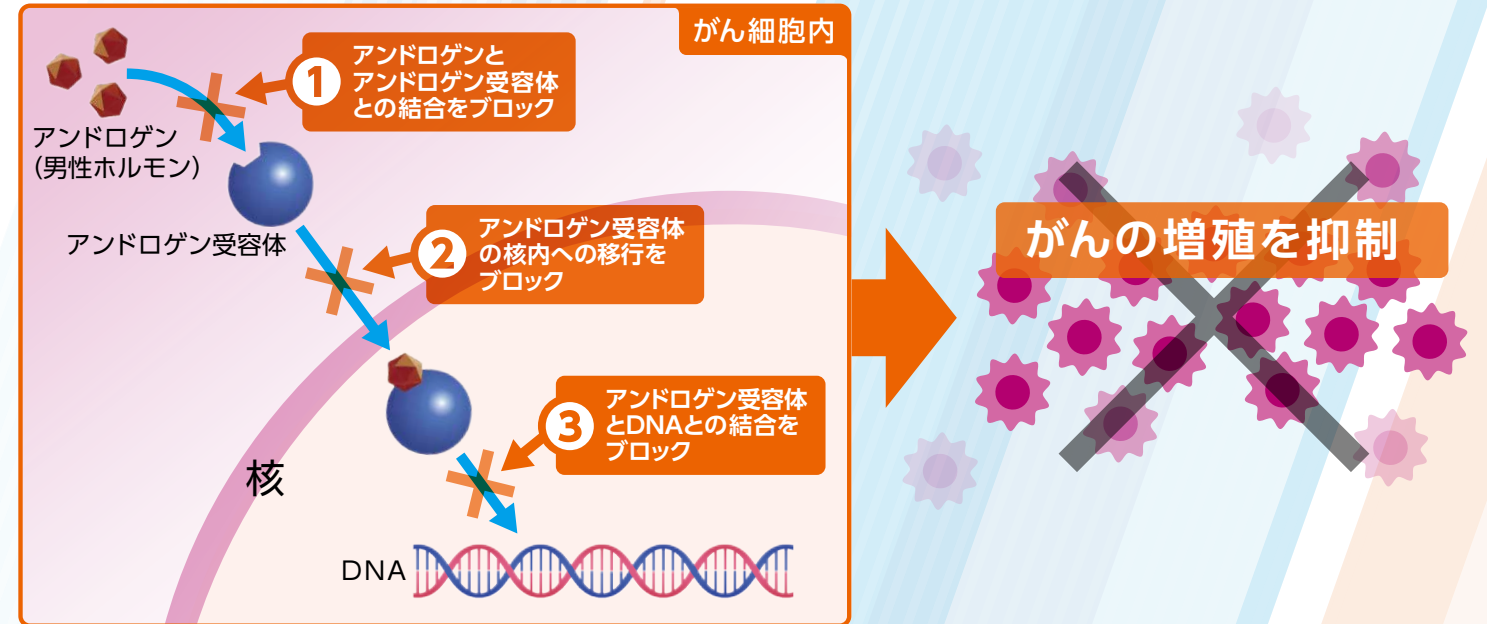
このような状態を「きょせいていこうせいぜんりつせん去勢抵抗性前立腺がん」といいます。



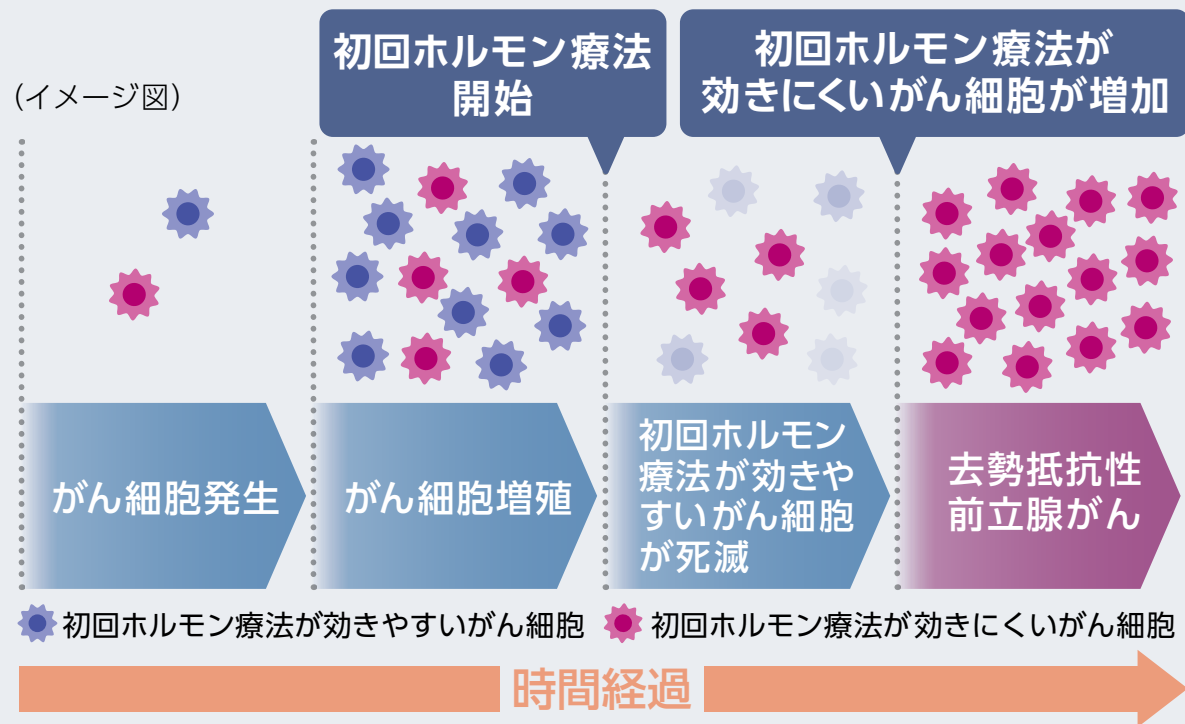
ニューベクオのはたらき



ニューベクオは、がん細胞の増殖に必要な男性ホルモン(アンドロゲン)からの刺激を**3つの作用でブロック**します。ニューベクオは、がんの進行を抑え、転移がない状態を長く保つことを目的に使用されます。

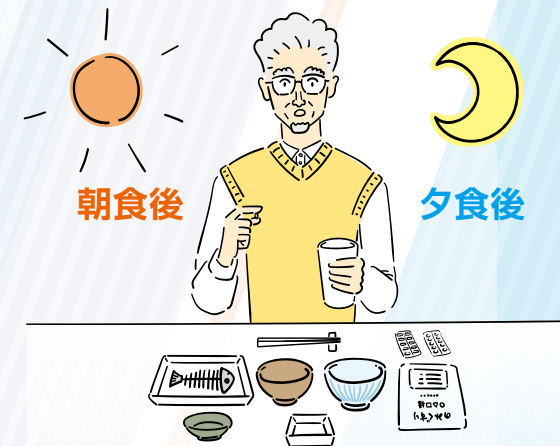


去勢抵抗性前立腺がんになるまでの経過



ニューベクオの服用方法

通常、1回2錠を1日に2回、食後に服用します。



- お薬を包装シートから取り出し、食後(30分以内)に、水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。
- できるだけ毎日同じ時間に飲むようにしてください。



ニューベクオは空腹時に服用すると、お薬の吸収が悪くなる場合があります。必ず食後に服用し、どうしても食事がとれない場合は、バナナやおにぎりなど何か軽いものを食べてから服用するとよいでしょう。

^{*}去勢状態とは、男性ホルモン(血清テストステロン)値が50ng/dL (0.5ng/mL)未満の状態をいいます。

ニューベクオ[®]を服用される患者さんにご家族へ

監修：群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 教授 鈴木 和浩 先生

ニューベクオの副作用

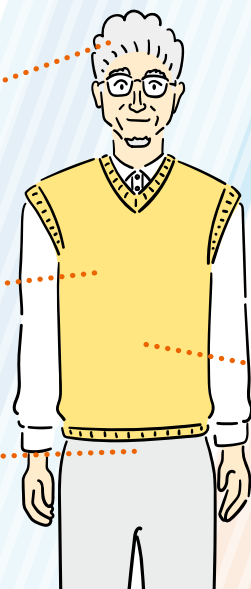
主な副作用は「**疲労**」「**ほてり**」「**吐き気**」です。
ほかにも、次のような副作用がみられることがあります。

ニューベクオの副作用(発現頻度1%以上)

- 頭痛(1.4%)
- ふわふわしためまい(1.2%)

- 乳房が大きくなる(1.6%)

- 下痢(1.6%)
- 便秘(1.0%)



全身

- 疲労(7.1%)
- ほてり(3.8%)
- 高血圧(1.2%)

- 吐き気(2.5%)
- 食欲減退(1.5%)

特に注意が必要な副作用

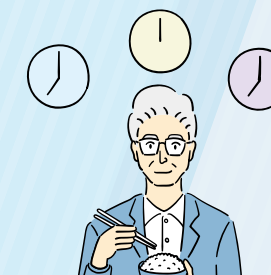
- 心臓障害(1.0%)

ニューベクオ服用中に気をつけること

- 脈の打ち方が不規則になったり(不整脈)、脈を打つ速度が遅くなる(徐脈)、胸がドキドキする(動悸)などの心臓障害があらわれることがあります。症状が発現した場合には、すぐに担当医や看護師、薬剤師に連絡してください。治療を安全に進めるために、必要に応じて心電図などの心機能検査が行われることがあります。このような場合は、担当医の指示に従ってください。
- 因果関係は明らかではありませんが、間質性肺疾患が発現する恐れがあります。初期症状(息切れがする、息苦しくなる、空咳が出る、発熱)が発現した場合には、すぐに担当医や看護師、薬剤師に連絡してください。
- 他の医療機関を受診したり、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずニューベクオによる治療を受けていることを担当医や看護師、薬剤師に伝えてください。

日常生活のアドバイス

- 規則正しい生活を続け、食事はきちんととりましょう。



- 骨の健康のために、カルシウムをしっかりととりましょう。



- 適度な運動をする習慣をつけましょう。



- お気に入りの時間をつくり、暮らしを楽しみましょう。

- 体調の変化など気になることがあったら、服薬日誌などにメモして担当医に伝えましょう。



このようなときは、担当医に相談しましょう。

- 休息や十分な睡眠をとっても疲れやだるさが続く
- 眠れない、眠りが浅い
- 急に熱が出た
- 吐き気が強く、食欲がない
- 下痢や便秘がひどい
- 精神的な悩みや不安が強い

! 「いつもと違うな」と感じる症状がある場合は、担当医や看護師、薬剤師に相談してください。